
2010年度 第1回 音環境運営委員会 議事録

記録:渡辺

- A. 日 時 2010年5月19日(水) 17時00分~19時00分
- B. 場 所 建築学会会議室
- C. 出席者 安藤 啓、大鶴 徹、岡田恭明、佐久間哲哉、田端 淳、中澤真司、羽入敏樹、平松友孝、平光厚雄、堀之内吉成、宮島徹、吉村純一、渡辺充敏(敬称略)
欠席者 井上勝夫、土田義郎、佐藤史明、濱田幸雄、峯村敦雄(敬称略)
- D. 提出資料
No.1-0 2009年度 第6回音環境運営委員会議事録(案)(渡辺)

E. 審議事項

1. 前回議事録確認(資料No.1-0)

- 特になし。
- 次の補足説明があった。
 - ・ 「音環境アカデミックスタンダードWG」の小委員会は、「音環境規準検討小委員会」との名称となり、承認された。
 - ・ 司法支援建築会議の委員に、BL・安岡氏に加えて、日総試・和木氏、名城大・吉久先生、音環・平松氏、渡邊氏、九大・藤本先生、大分大・大鶴先生、北九州大・黒木先生等が推薦されている。
 - ・ 環境工学用実験教材はもうすぐ刊行される。

2. 環境工学本委員会報告(田端主査)

- AIJ 刊行規定改定案について、意見があれば6月中に事務局に出して欲しい(別途、改定案 pdf を委員に送付)。
- 2011年度大会は、8月下旬、早稲田大学早稲田キャンパスの予定で進んでいる。
- 2010年度大会に関して次の報告があった。
 - ・ 発表題数は6,802題で過去最高、環境工学は1,304題で前年比70題の増加であった。
 - ・ 環境デザイン発表会は、発表題数の確保に有効であるとアンケート結果から説明された。
 - ・ 2010年度大会オーガナイズトセッションについて、音は「音環境数値シミュレーションの新展開」であり、5件応募で5件採択された。
 - ・ 音環境は、一日目と三日目である。
 - ・ 建築学会論文賞に環境工学から、大鶴先生が選ばれた。二日目の研究協議会の前に講演がある。
 - ・ 大会に合わせて委員会等を開催する場合は、7/15までに事務局に申し込む。
 - ・ 環境工学懇親会は二日目の夕方に開かれる。メールマガジンで配信される。
 - ・ 研究協議会、研究懇談会案の説明があった。音の主題解説者は佐藤洋先生に決定した。
- 代議員等による委員会活動評価に関する説明があった。
- プログラム編成のための細々分類WGの活動についての説明があった。来年度の大会公募までに変更案が示される見込みである。
- 各催し物の実施計画書は全て承認された。
- 委員の解嘱・委嘱について説明があった。
- メールマガジンの配信依頼は全て承認された。
- 運営委員会の自己評価がWebにアップされるので、目を通して今後の参考にして欲しい。
- 直営刊行物の絶版リストについて説明があった。

3. 審議事項

- 2011年度大会の研究懇談会のテーマ案として、各分野の「現状と将来」が示されている。各運営委員会で発表者、内容等を検討し、9月の本委員会に提出する。
 - ・ 昨年度は、大鶴先生が各小委員会からの活動経緯と将来を整理して説明した。
 - ・ 久野先生より、4年間の変化について示して欲しいとの要望があった。
 - ・ 今年度の大会が終わってから具体的に動き出したい。
- 運営委員会の開催を、来年度から5月と7月をまとめて4回としたいとの意向が示され、これにつ

いて各運営委員会での検討依頼があった。各位、意見があれば出して欲しい。

4. 小委員会・WG 活動報告

固体音小委員会（中澤主査）

- 4/11、5/18 に開催した。
- ボールの A 特性による評価基準作成を検討している。
- 委員が被験者となった聴感評価実験結果を大会に投稿するため、内容を吟味した。
- A 特性の算出方法の検討のため小委員会内でデータを集めている。現在、500 以上のデータが集まっており、それらの粗集計の結果について議論した。更にデータを集めて検討を進める。

集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会（濱田主査、田端委員）

- 4/5 に開催した。次回は 6/7 の予定。
- アンケート結果のまとめを大会に投稿するためグラフを作成し、検討した。

建築音響測定法小委員会（宮島主査、堀之内幹事代読）

- 4/15 に開催した。次回は 6/23 の予定。
- 実騒音を用いた遮音性能測定法の検討に関連して、名古屋の超高層現場での測定を実施し、その遮音性能分析結果について概略の報告があった。今後、詳細な分析を行っていく。
- フランキングの検討に関連して、フランキングの影響の出そうな経路のある現場で測定を実施したが、現象をうまく捉えられなかった。今後、フランキングに関するアンケートの叩き台を作成することになった。遠くない時期に実施したいので、ご協力をお願いしたい。

室内音響小委員会（羽入主査）

- 5/14 に開催した。
- シンポジウム「(仮題)音をめぐる設計プロセスと空間設計の可能性」を企画している。パフォーマンス空間以外に音響設計のプロセスを上げていくのが目的である。
- 音響設計事例集を作成し、音響設計の価値を伝えていくツールとしたい。次回、委員が事例を持ち寄って議論を進める予定である。
- 音響指標 WG を 4/16 に開催した。指標算出のベンチマークを作る事を目的に活動している。測定に起因するバラツキとインパルス応答からの算出過程に起因するバラツキのうち、後者に着目したベンチマークを作成する方針である。T30、EDT、C80、D50 等のモノラル指標を当面の対象とする。
- スピーチプライバシー研究 WG は 5/26 に開催予定。委員の個別の研究を持ち寄って議論を進めている。ヤマハのスピーチプライバシーに関する取り組みが NHK で取り上げられ反響が大きかった。潜在的なニーズがあると見られる。

音響数値解析小委員会（佐久間主査）

- 6/1 に次回開催予定。
- 原稿の読み合わせを中心に進めている。書籍は、理論と応用に大きく分かれており、理論については表現等に関する検討を行い、応用については事例を幅広く集めている。
- 大嶋先生が委員長をしているオープンアコースティックの進捗状況の紹介があった。
- シンポジウムを年度末に予定している。書籍出版とはリンクした物ではない。小委員会としてのトピックスを次回に絞り込む予定である。

企画・広報 WG（峯村主査）

- 4/14 に本年度の第一回を開催した。
- 研究動向調査では、分類とフォーマットを決定した。各委員への割り振りを決定し、依頼した。
- 騒音問題のための住まい方マニュアルの作成では、既存情報を調査中である。今後は、関連団体や研究のヒアリングなどを行い年度末に企画を整理する予定である。

音環境規準検討小委員会（平松主査）

- 4/1 より小委員会となり、伴って遮音性能規準 SWG と集合住宅の遮音設計指針 SGW は WG に変更された。
- 3/26 に小委員会開催、3/30 と 5/11 に集住設計指針 WG を開催、4/2 と 5/11 に規準 WG 開催した。
- 2011 年 3 月末に WD 完成して刊行小委員会に移行し、2011 年 4 月からの 2 年間で AIJES 完成予定として作業を進める。

5. 他学会の予定

日本音響学会・建築音響研究会	5/21	日本大学(御茶ノ水)	13:00～	テーマ一般
	6/4	広島国際大学(アステールプラザ)		
	7/6	(社)自動車技術会・振動騒音部会との共催。		場所は鹿島技研。
日本音響学会・騒音・振動研究会	5/21	名城大		

6/25 山口大
7/23 横浜国大
8/20 金沢工大

6. その他

- 5/27 13:30～ 67 回音シンポジウム「AIJ-ES 都市・建築空間の音声伝送品質の評価基準・同解説」
刊行にむけて、が開催される。

7. 次回の予定

次回は、2010 年 7 月 29 日(木) 17:00～ 建築会館・会議室

2010 年度 音環境運営委員会予定		
第 1 回	2010.5.19(水)	実施
第 2 回	2010.7.29(木)	
第 3 回	2010.9.27(月)	
第 4 回	2010.11.18(木)	
第 5 回	2011.2.21(月)	